委員会報告　平成19年度消化器がん検診全国集計

Ⅰ．胃がん検診全国集計
Ⅱ．大腸がん検診全国集計
Ⅲ．食道がん検診および肝胆膵検診全国集計

日本消化器がん検診学会全国集計委員会
北川　晋二，宮川　国久，宇都宮　尚，小川　眞広，
齋藤　洋子，瀬川　昂生，長田　裕典，藤谷　幹浩，
松田　　徹

はじめに

全国集計委員会が担当する全国集計は，今回でその25回目にあたる。平成19年度の調査は昨年度と同様に，調査票を送付する方法に加え，コンピューター入力用プログラムを送付しフロッピーディスクにて回答を求める方法も行った。

Ⅰ　胃がん検診全国集計成績

1．胃がん検診全国集計対象機関の区分と機関別受診者

検診機関を区分別にみると，検診の統計をよく行っているⅠ群の割合は，間接がん検診機関では247ヵ所中203ヵ所(82.2%)，直接がん検診では227ヵ所中182ヵ所（80.2%）であった（表１）。

平成19年度の受診者総数は，6,385,118人で，発見胃癌の実数は5,606例（0.088%）であった。精検受診率を100%とした場合の推定発見胃癌数8,856例（0.139%）であった（表２）。

胃がん検診の受診者総数の年次別推移をみると，図１に示すように平成19年度の受診者総数は，前年度と比べ約60万人，10.3%増加した。

2．撮影方法

胃Ｘ線撮影法について検診機関数を分母にしてみると，撮影枚数は間接がん検診では６枚が0.8%で，７枚が29.1%，８枚以上が68.1%で，増加傾向を示し，学会の勧告した標準枚数がかなり定着していると考えられた（図２－ａ）。200%以上のバリウムを用いている施設は，間接がん検診で70.9%，直接がん検診で80.5%を占めていた（図２－ｂ）。バリウムの量は間接がん検診，直接がん検診とも，131～150mlが最も多く使われており，少量の高濃度バリウムで検査する施設が増加していた(図２－ｃ)。バリウムの濃度と量の関係を図２－ｄに示すが，負の相関を示した。

撮影者については，間接がん検診では，医師が撮影する機関は0.0%，技師が行う機関は97.2%，両者で撮影するもの1.2%であった。直接がん検診では医師が3.5%，技師は85.1%，両者が10.1%であった（図２－ｅ）。

3．読影状況

読影状況についてみると，ダブルチェックを行っていない機関が間接がん検診で6.1%，直接がん検診で16.3%あった(図３－ａ)。認定医の有無についてみると，間接がん検診を行っている検診機

表１　胃がん検診全国集計対象機関の区分（平成19年度）

	機関数	
	間接がん検診[1]	直接がん検診[2]
Ⅰ群　性・年齢別に受診者、要精検者、精検受診者、発見胃癌患者が把握され、且つ癌患者の個人票の揃っているもの	203（82.2％）	182（80.2％）
Ⅱ群　性・年齢別に集計されていないもの及び集計数のみ判明するもの	44（17.8％）	45（19.8％）
計	247	227

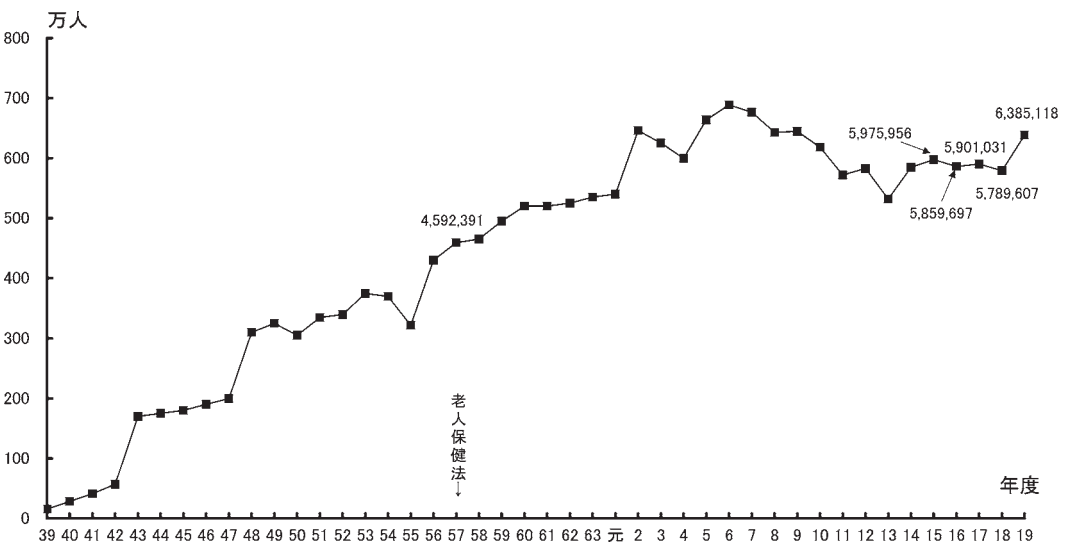
（注）：1)間接X線撮影による胃がん検診のこと
2)直接X線撮影による胃がん検診のこと

表２　対象機関別受診者数と発見胃癌数
（平成19年度，男女計，間接，直接の合計）

区分	受診者数	発見胃癌数（実数）	率	（推定数）	（推定率）
Ⅰ群	5,599,817	5,519	0.099％	8,093	0.145％
Ⅱ群	785,301	87	0.011％	763	0.097％
総計	6,385,118	5,606	0.088％	8,856	0.139％

＊推定率は各群の精検受診率（Ⅰ群68.2%、Ⅱ群11.4%）を100とした場合、未受診者も受診者と同じ率で、胃癌が発見されるものとして算出したもの

図１　胃がん検診の年度別集計対象数の推移（昭和39年度～平成19年度学会による全国集計）



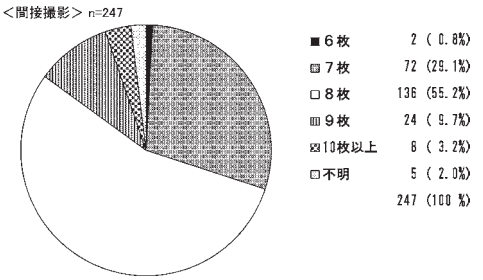
関では63.6％，直接がん検診の機関では，57.2％に認定医がいるという状況であった（図３－ｂ）。

４．精検以後の管理

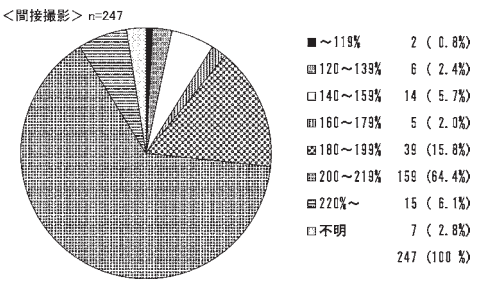
精検以後の管理の方法について，間接がん検診の場合について述べると，精検の実施方法では，

図2　撮影方法

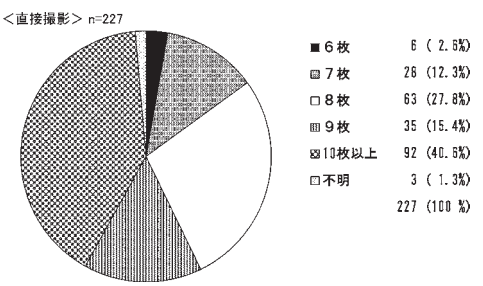
a．撮影枚数



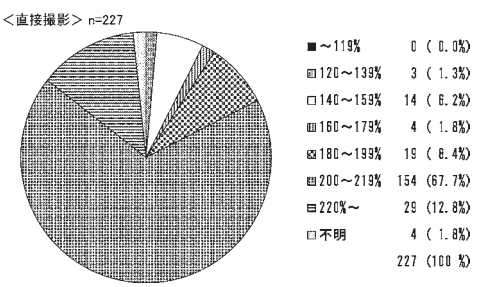
b．バリウムの濃度



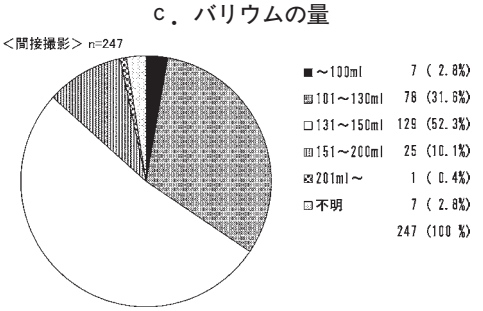
a．撮影枚数



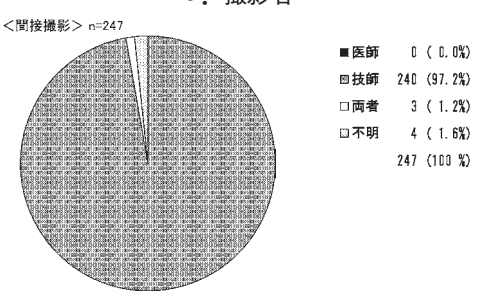
b．バリウムの濃度



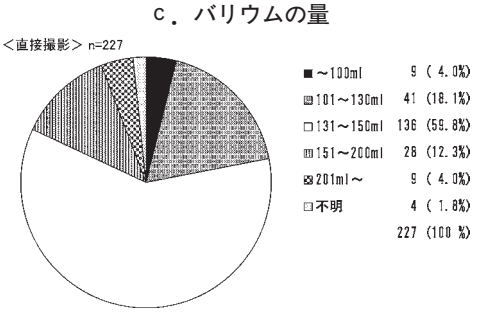
c．バリウムの量



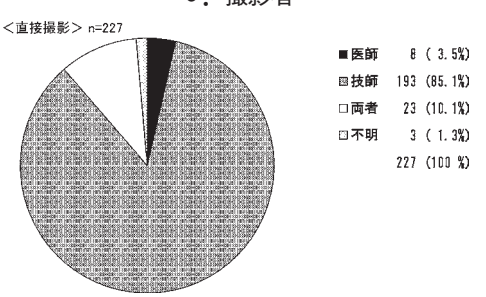
e．撮影者



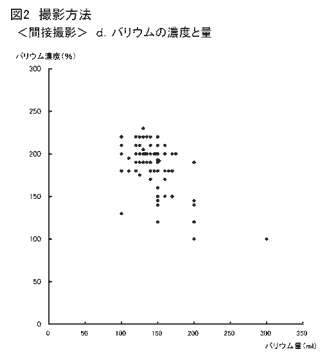
c．バリウムの量



e．撮影者



d．バリウムの濃度と量



d．バリウムの濃度と量

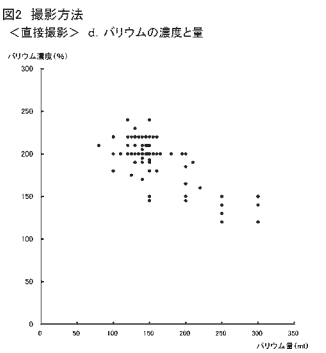
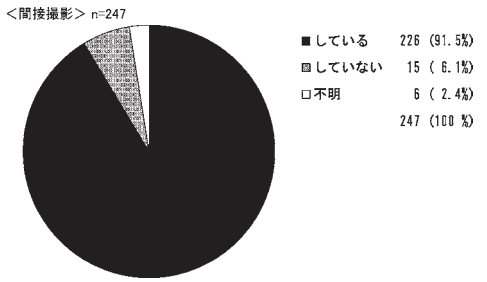
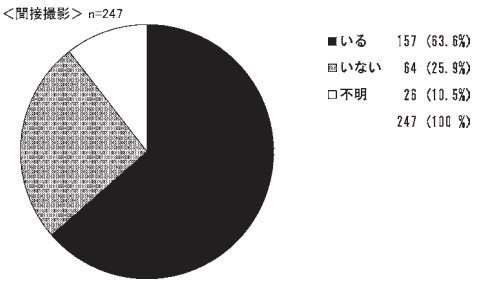


図３　読影状況

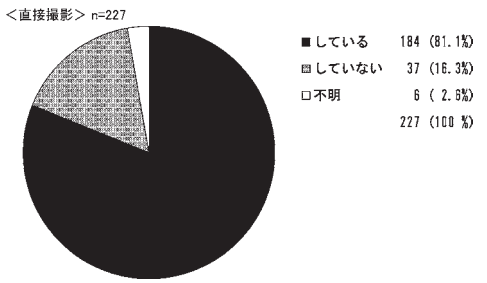
a．ダブルチェック



b．認定医



a．ダブルチェック



b．認定医

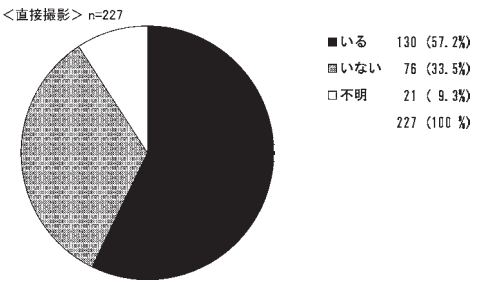


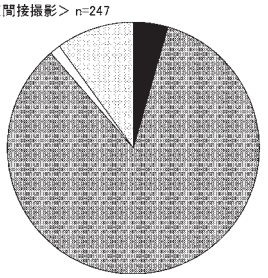
表３　地域・職域検診別の検診成績
（Ⅰ，Ⅱ群，間接・直接がん検診，男女合計，平成19年度）

	地域検診	職域検診	計
検　診　数	2,778,953	3,403,830	6,182,783
要精検者数	269,439	245,763	515,202
要精検率	9.7 %	7.2 %	8.3 %
精検受診者数	217,069	103,761	320,830
精検受診率	80.6 %	42.2 %	62.3 %
発見胃癌数	4,333	1,134	5,467
発　見　率	0.156 %	0.033 %	0.088 %

図4　精検以後の管理

a．精検の実施方法

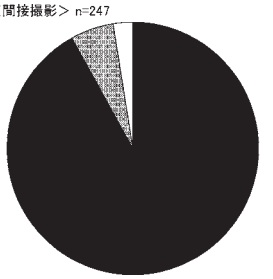
<間接撮影> n=247



■X線検査　11（4.5%）
▨内視鏡検査　208（84.2%）
□両方　3（1.2%）
▨不明　25（10.1%）
247（100 %）

b．要精検者への受診勧奨

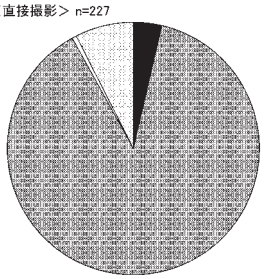
<間接撮影> n=247



■している　227（91.9%）
▨していない　14（5.7%）
□不明　6（2.4%）
247（100 %）

a．精検の実施方法

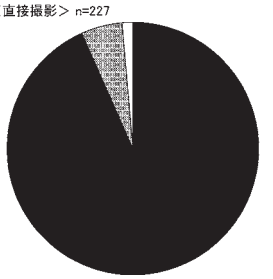
<直接撮影> n=227



■X線検査　8（3.5%）
▨内視鏡検査　201（88.6%）
□両方　1（0.4%）
▨不明　17（7.5%）
227（100 %）

b．要精検者への受診勧奨

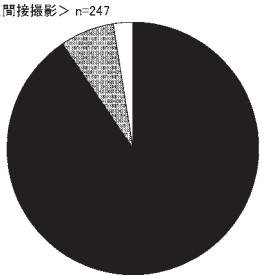
<直接撮影> n=227



■している　212（93.4%）
▨していない　12（5.3%）
□不明　3（1.3%）
227（100 %）

c．精検結果の把握

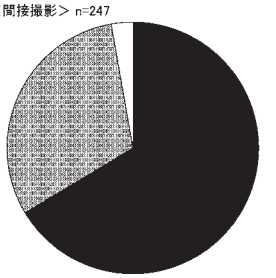
<間接撮影> n=247



■している　224（90.7%）
▨していない　17（6.9%）
□不明　6（2.4%）
247（100 %）

d．精検未受診者への受診勧奨

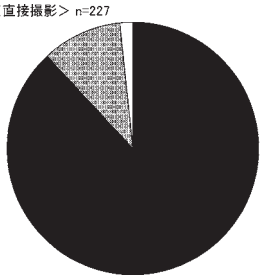
<間接撮影> n=247



■している　164（66.4%）
▨していない　76（30.8%）
□不明　7（2.8%）
247（100 %）

c．精検結果の把握

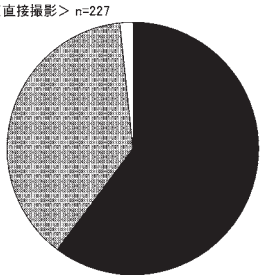
<直接撮影> n=227



■している　200（88.1%）
▨していない　23（10.1%）
□不明　4（1.8%）
227（100 %）

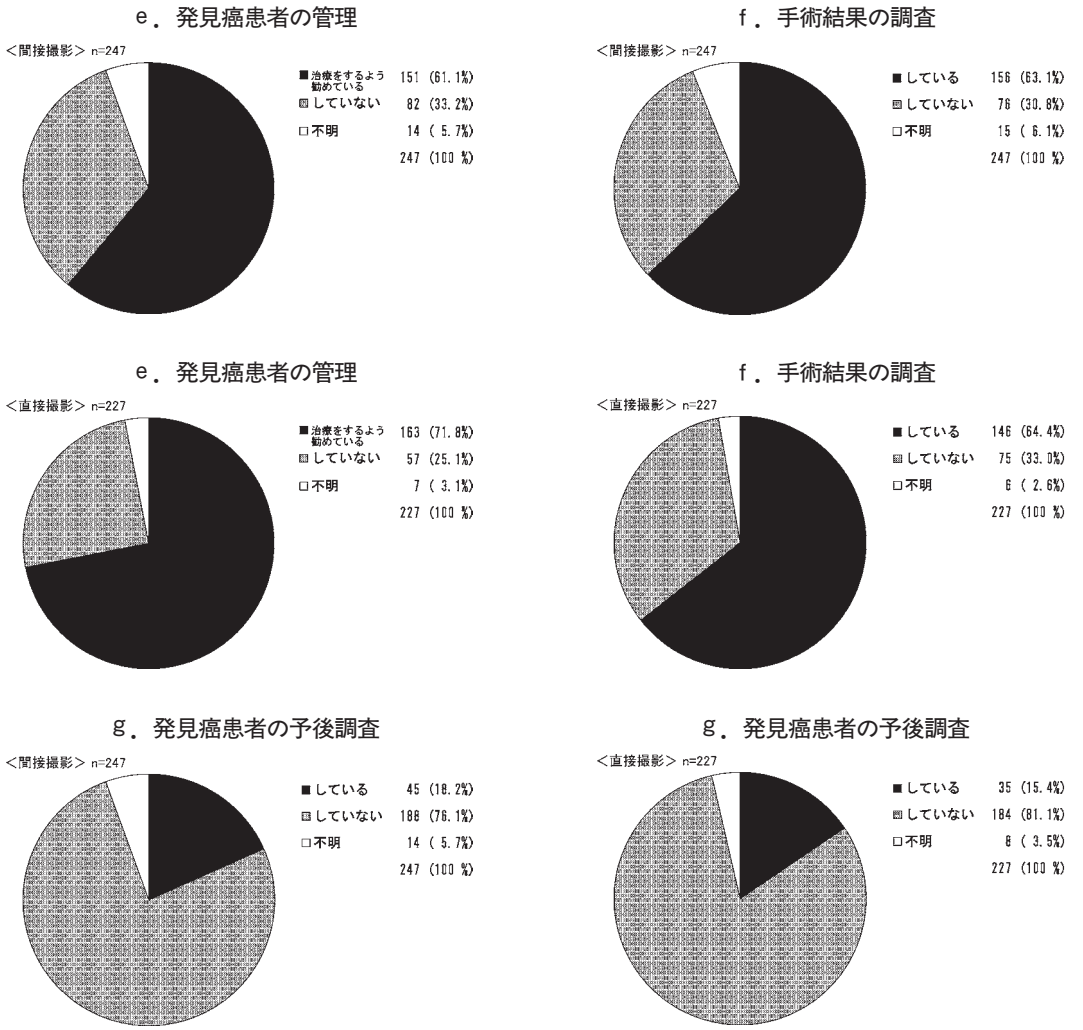
d．精検未受診者への受診勧奨

<直接撮影> n=227



■している　137（60.3%）
▨していない　86（37.9%）
□不明　4（1.8%）
227（100 %）

図４　精検以後の管理



Ｘ線検査であるもの4.5%,内視鏡検査であるもの84.2%，Ｘ線検査と内視鏡検査両方を施行しているのは1.2%であった。要精検者に対する受診勧奨をしているのは91.9%(図４－ｂ)，精検結果の把握をしているところは90.7%(図４－ｃ)，精検未受診者への受診勧奨を行っているのは66.4%（図４－ｄ),発見胃癌患者への治療の勧奨を積極的に進めているところは61.1%(図４－ｅ)，手術結果の調査をしているところは63.1%(図４－ｆ)，またその予後調査をしているところは18.2%であった(図４－ｇ)。直接がん検診の場合は，発見癌患者への治療の勧奨をしているところが71.8%，手術結果の調査をしているところは64.4%，患者の予後調査をしているところは15.4%であった（図４－ｅ～ｇ)。

５．地域・職域検診別および間接・直接がん検診別の成績

地域検診と職域検診に分けて検討すると，地域検診が2,778,953人，職域検診が3,403,830人で前

表 4　地域・職域検診別の検診成績
（Ⅰ，Ⅱ群，間接がん検診，男女合計，平成19年度）

	地域検診	職域検診	計
検　診　数	2,513,558	1,946,179	4,459,737
要精検者数	244,238	136,798	381,036
要精検率	9.7 %	7.0 %	8.5 %
精検受診者数	198,311	59,051	257,362
精検受診率	81.2 %	43.2 %	67.5 %
発見胃癌数	3,938	570	4,508
発　見　率	0.157 %	0.029 %	0.101 %

表 5　間接・直接がん検診別の検診成績
（Ⅰ，Ⅱ群，男女合計，平成19年度）

	間接がん検診	直接がん検診	計
検　診　数	4,496,250	1,888,868	6,385,118
要精検者数	382,748	144,333	527,081
要精検率	8.5 %	7.6 %	8.3 %
精検受診者数	258,407	70,444	328,851
精検受診率	67.5 %	48.8 %	62.4 %
発見胃癌数	4,522	1,084	5,606
発　見　率	0.101 %	0.057 %	0.088 %

図 5　性・年齢階級別受診者数（平成19年度）
（地域，職域，直接・間接合計）

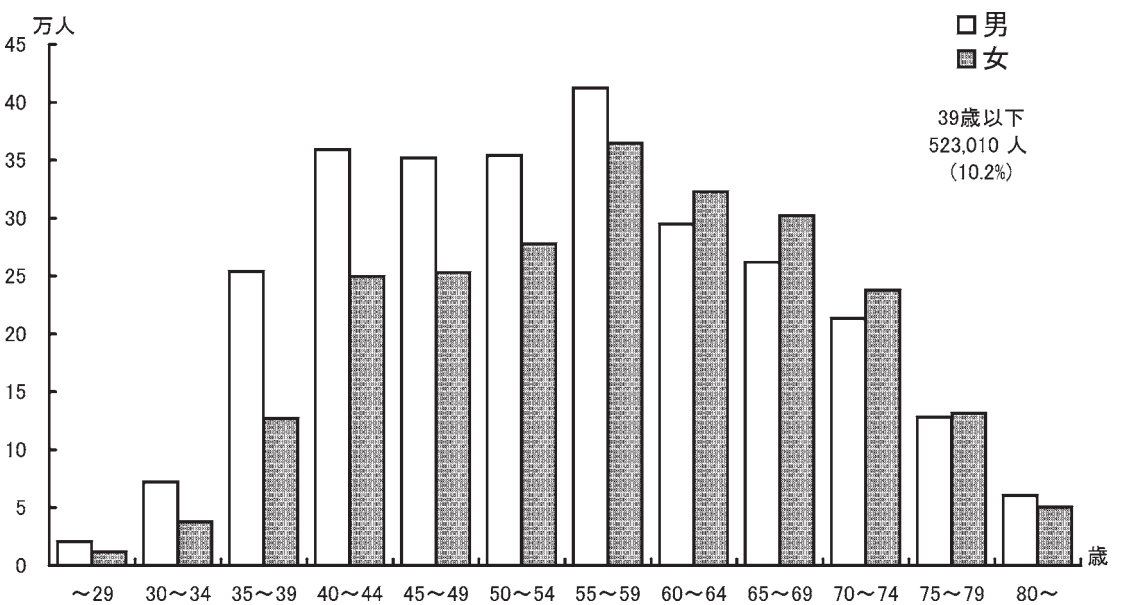


表 6　性・年齢別胃がん検診全国集計成績―男性―直接・間接，地域職域検診合計（平成19年度）

	総　数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	2,795,458	20,525	72,106	254,144	359,291	352,043	353,922	412,297	294,491	261,730	213,416	128,023	60,311	13,159
B 要精検者数	267,520	611	2,825	11,603	21,552	26,888	34,108	45,310	35,963	32,928	28,420	17,343	8,074	1,895
B/A %	9.57 %	2.98 %	3.92 %	4.57 %	6.00 %	7.64 %	9.64 %	10.99 %	12.21 %	12.58 %	13.32 %	13.55 %	13.39 %	14.40 %
C 精検受診者数	171,128	283	1,459	5,579	11,346	14,037	18,112	25,506	23,695	25,145	23,201	14,564	6,786	1,415
C/B %	63.97 %	46.32 %	51.65 %	48.08 %	52.64 %	52.21 %	53.10 %	56.29 %	65.89 %	76.36 %	81.64 %	83.98 %	84.05 %	74.67 %
D 胃癌	3,784	0	0	10	30	93	206	425	572	702	809	584	302	51
D/A %	0.135 %	0.000 %	0.000 %	0.004 %	0.008 %	0.026 %	0.058 %	0.103 %	0.194 %	0.268 %	0.379 %	0.456 %	0.501 %	0.388 %
非上皮性悪性腫瘍	56	0	0	1	7	3	5	10	12	2	10	3	1	2
胃腺腫（異型上皮）	767	0	1	2	7	13	21	80	93	136	161	156	82	15
胃ポリープ	19,738	24	184	764	1,434	1,534	1,811	2,637	2,598	2,903	2,907	1,838	874	230
胃潰瘍	24,440	11	123	670	1,426	2,189	3,138	4,582	3,719	3,271	2,747	1,595	793	176
その他の胃良性疾患	73,229	98	560	2,069	4,349	5,566	7,488	10,404	10,306	11,630	10,658	6,544	2,990	567
異常なし	33,767	125	435	1,504	2,791	3,094	3,604	4,823	4,370	4,572	4,242	2,771	1,252	184

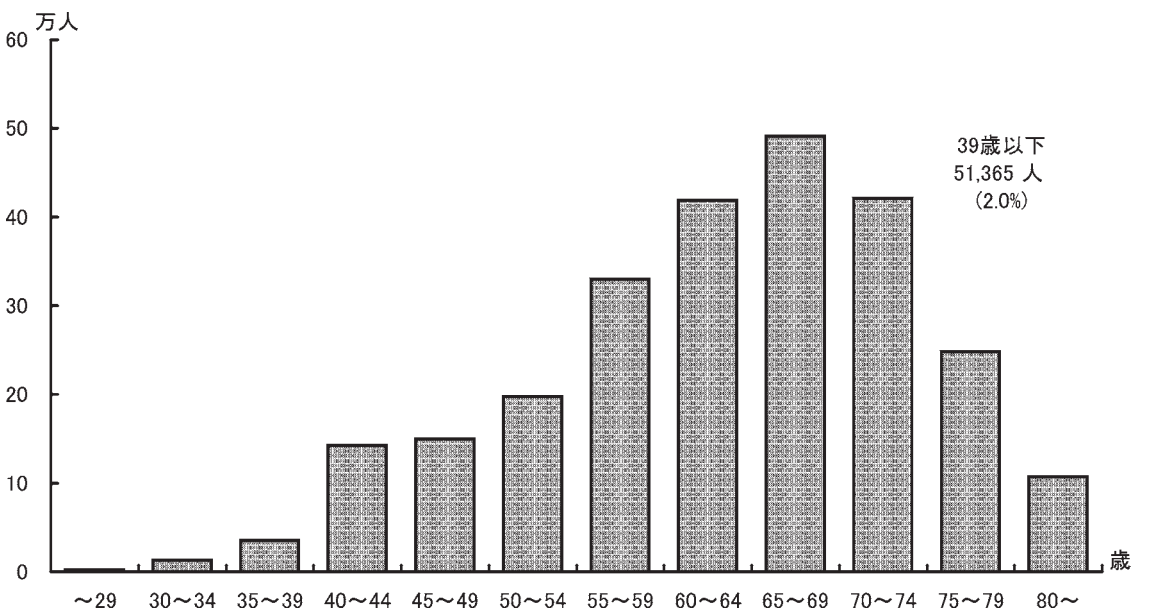
*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

表 7　性・年齢別胃がん検診全国集計成績―女性―直接・間接，地域職域検診合計（平成19年度）

	総　数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	2,379,586	11,694	37,627	126,914	249,869	253,139	277,902	364,502	322,720	301,915	237,619	131,322	50,564	13,799
B 要精検者数	177,608	372	1,547	5,699	14,021	15,732	19,097	27,029	25,917	25,846	22,102	13,359	5,441	1,446
B/A %	7.46 %	3.18 %	4.11 %	4.49 %	5.61 %	6.21 %	6.87 %	7.42 %	8.03 %	8.56 %	9.30 %	10.17 %	10.76 %	10.48 %
C 精検受診者数	138,609	221	994	3,439	9,433	10,623	13,500	20,433	21,176	22,046	19,398	11,681	4,590	1,075
C/B %	78.04 %	59.41 %	64.25 %	60.34 %	67.28 %	67.52 %	70.69 %	75.60 %	81.71 %	85.30 %	87.77 %	87.44 %	84.36 %	74.34 %
D 胃癌	1,515	1	3	11	41	49	98	201	223	255	317	196	100	20
D/A %	0.064 %	0.009 %	0.008 %	0.009 %	0.016 %	0.019 %	0.035 %	0.055 %	0.069 %	0.084 %	0.133 %	0.149 %	0.198 %	0.145 %
非上皮性悪性腫瘍	33	0	0	1	0	2	2	4	11	3	8	2	0	0
胃腺腫（異型上皮）	360	0	1	2	3	6	14	28	64	71	70	61	33	7
胃ポリープ	31,336	48	372	1,357	3,374	3,047	3,109	4,224	4,330	4,305	3,735	2,279	862	294
胃潰瘍	8,859	7	18	101	398	668	1,096	1,518	1,336	1,334	1,221	730	357	75
その他の胃良性疾患	55,154	51	255	852	2,758	3,371	4,860	8,322	9,252	9,722	8,387	5,021	1,910	393
異常なし	32,407	94	297	931	2,260	2,729	3,332	4,837	4,691	4,977	4,445	2,606	1,015	193

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

図 6　地域検診の年齢階級別受診者数（平成19年度）（直接・間接，男女合計）



者が44.9%を占めていた。地域検診と職域検診との要精検率を比較すると，地域検診で9.7%，職域検診7.2%と，その差は少なかったのに対し，精検受診率を比較してみると，各々80.6%と42.2%であり，両者に著しい差が認められ，職域検診の一次検診後の管理に依然として不備が感じられた。

図7　職域検診の年齢階級別受診者数（平成19年度）（直接・間接，男女合計）

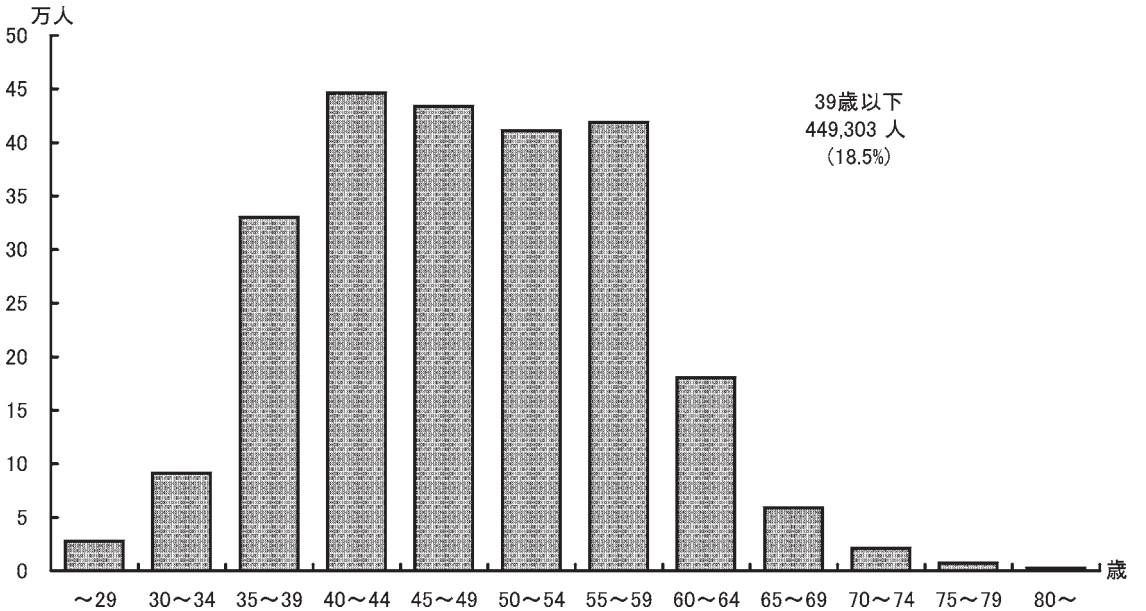


表8　発見疾患とその頻度（年次別推移）（男女計）

胃疾患＼年度		平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
胃癌	A	5,259	5,005	5,408	5,477	5,302	5,268	5,494	5,304
	B	7,648	6,980	7,677	7,788	7,740	7,264	7,704	7,623
	B/C	0.15	0.14	0.15	0.15	0.15	0.14	0.14	0.15
胃ポリープ	A	54,588	52,938	55,688	56,970	57,874	57,831	56,987	51,438
	B	79,390	73,823	79,057	81,004	84,488	79,745	79,914	73,926
	B/C	1.54	1.51	1.53	1.58	1.65	1.55	1.49	1.42
胃潰瘍	A	45,551	42,678	43,898	41,998	39,542	39,574	39,221	33,399
	B	66,247	59,515	62,320	59,716	57,726	54,570	55,001	48,001
	B/C	1.28	1.21	1.21	1.17	1.12	1.06	1.02	0.92
受診者総数		5,159,236	4,902,069	5,167,204	5,111,185	5,132,087	5,133,307	5,370,924	5,221,232

*性別、5歳階級別に集計可能な受診者数を母数とした
A：実数、B：要精検者が全員精検を受診した場合の推定数、C：受診者総数

表9　治療の種類（平成19年度）

総　　数	3,953
外科手術	2,289
腹腔鏡下手術	471
内視鏡的治療	1,039
化学療法	103
無治療	26
その他	25

表10　手術の種類（平成19年度）

総　　数	2,688
切除術	2,668
ポリープ摘除術	2
吻合術	6
単開腹	10
造　　瘻	2

その結果，後述する職域検診での39歳以下の若年受診者の占める割合が多いこととあいまって，職

表11　根治度（平成19年度）

総　　数	2,526
A	2,141
B	292
C	93

表12　癌病巣の数（平成19年度）

単　発	3,552
2　個	281
3　個	47
4個以上	19
合　計	3,899

表13　発見胃癌の占居部位Ⅰ（平成19年度）

部　位	病巣数	%
U	849	21.4
M	1,814	45.6
L	1,250	31.4
全　体	62	1.6
合　計	3,975	100.0

域検診での胃癌発見率は0.033％と，地域検診の0.156％の５分の１であった（表３）。また間接がん検診について，地域と職域検診別に検討したものを表４に示した。

間接がん検診と直接がん検診を比較すると，受診者数は直接がん検診が1,888,868人，間接がん検診は4,496,250人であり，直接がん検診の2.4倍であった(表５)。要精検率は間接がん検診が8.5％，直接がん検診が7.6％と間接がん検診がやや高く，精検受診率は間接がん検診が67.5％，直接がん検診が48.8％と間接がん検診が高くなっており，胃癌発見率は間接がん検診が0.101％，直接がん検診が0.057％と間接がん検診が高かった。

表14　発見胃癌の占居部位Ⅱ（平成19年度）

部　位	病巣数	%
小　彎	1,504	38.1
大　彎	681	17.3
前　壁	696	17.7
後　壁	931	23.6
全　周	131	3.3
合　計	3,943	100.0

表15　発見胃癌の大きさ（平成19年度）

長径（cm）	病巣数	%
～1.0	484	13.7
1.1～2.0	902	25.5
2.1～5.0	1,591	44.9
5.1～	564	15.9
合　計	3,541	100.0

６．性・年齢階級別受診者数および疾患発見率

直接，間接，地域，職域がん検診を合計した性・年齢階級別の受診者数を図５に示した。男の分布は女に比べ若年者が多かった。胃癌発見率は男で0.135％，女で0.064％，男が女の２倍以上の発見率であった。胃ポリープは男が0.71％，女が1.32％で，逆に女の方が1.9倍発見率は高かった。胃潰瘍は男が0.87％，女が0.37％で，男が2.3倍であった（表６，７）。

39歳以下の受診者は男女あわせて約52万人おり，これは全受診者数の10.2％を占めていた。これを地域と職域検診に分けてみると，地域検診では39歳以下は男女あわせて2.0％であった。一方，職域検診では39歳以下が18.5％と，若年層受診者の占める頻度は地域検診に比べ，9.3倍高かった（図６，７）。

７．発見疾患の年次推移

表８は各胃疾患の発見率の年度別推移を表したものである。受診者総数（C）は，性別，５歳階

表16　切除胃癌の深達度別頻度（平成19年度）

総数	M	SM	MP	SS	SE	SI
3,734 （100.0 %）	1,655 （44.4 %）	1,087 （29.1 %）	326 （8.7 %）	337 （9.0 %）	292 （7.8 %）	37 （1.0 %）

M + SM	MP + SS + SE + SI
2,742 （73.5 %）	992 （26.5 %）

表17　Stage 分類（平成19年度）

Stage	例　数	%
ⅠA	2,369	66.8
ⅠB	478	13.5
Ⅱ	262	7.4
ⅢA	188	5.3
ⅢB	88	2.5
Ⅳ	160	4.5
計	3,545	100.0

表18　肉眼分類（平成19年度）

肉眼分類	例　数	%
0型	2,896	73.1
1型	116	2.9
2型	376	9.5
3型	357	9.0
4型	120	3.0
5型	98	2.5
計	3,963	100.0

表19　0 型（表在型）の亜分類（平成19年度）

肉眼分類	例　数	%
Ⅰ	153	5.3
Ⅱa	545	18.8
Ⅱa+Ⅱc	314	10.8
Ⅱb	53	1.8
Ⅱc	1,494	51.7
Ⅱc+Ⅲ	87	3.0
Ⅱc+Ⅱa	94	3.2
Ⅲ+Ⅱc	11	0.4
Ⅲ	17	0.6
その他の組み合わせ	84	2.9
不明	44	1.5
計	2,896	100.0

級別に各疾患の発見数と頻度が算出可能なものを分母として算出した。表のうち，Ａは発見実数，Ｂは要精検者が全員精検を受診した場合の推定患者数で，Ｂ／Ｃは推定発見率である。平成19年度の推定発見率は，胃癌0.15%，胃ポリープ1.42%，胃潰瘍0.92%であった。年度別の変化をみると胃癌の発見率はほぼ一定であったが，胃潰瘍は漸減を示した。

８．発見胃癌患者の追跡調査

１）手術成績

集計個票が全国集計委員会に送られてきた発見胃癌の治療の種類をみると，外科手術は3,953例中2,289例(57.9%)，腹腔鏡下手術は471例(11.9%)，内視鏡的治療は1,039例（26.3%）に施行されていた。腹腔鏡下手術や内視鏡的治療の頻度は年々増加していた（表９）。手術の種類では2,688例中2,668例（99.3%）に切除術が施行され，根治度Ａの切除は84.8%を占めていた(表10，11)。多発癌は3,899例中347例（8.9%）を占めていた（表12)。

２）占居部位

発見胃癌のＵＭＬ区分でみた占居部位は，Ｕが21.4%，Ｍが45.6%，Ｌが31.4%であった(表13)。壁在性でみると小彎が38.1%で最も多く，次いで

図８　発見胃癌例の検診受診歴と早期癌の頻度（平成19年度）

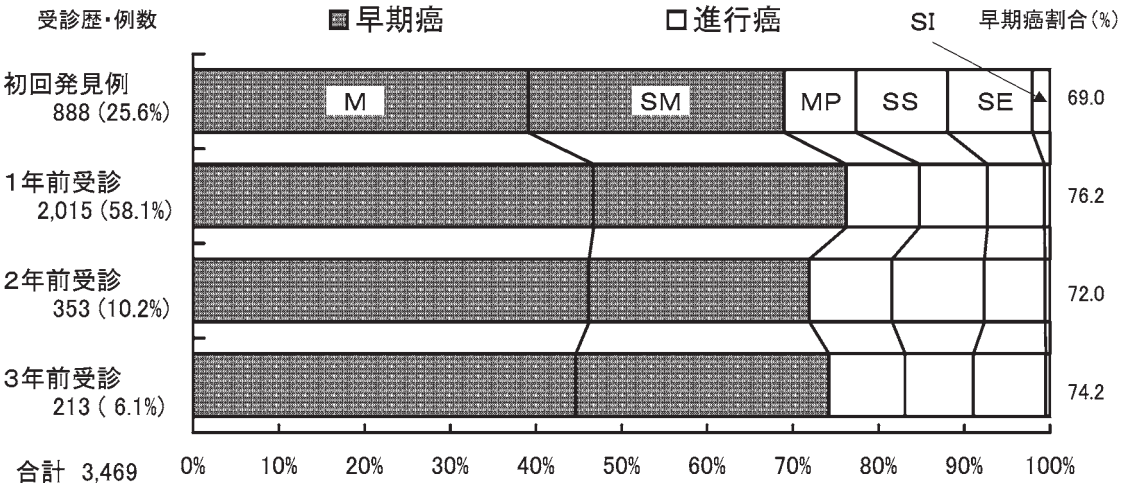


表20　内視鏡胃がん検診の全国集計成績（平成19年度）

受診者総数		211,821 人	
	男	110,767 人	(52.3%)
	女	101,054 人	(47.7%)
発見疾患と発見率			
	胃癌	633	(0.30%)
	（うち早期癌 458名）		(0.22%)
	胃潰瘍	7,447	(3.52%)
	胃ポリープ	21,345	(10.08%)

（年間500人以上実施し、集計可能な機関についての集計）

表21　大腸がん検診全国集計対象機関の区分（平成19年度）

		機関数
Ⅰ群	性・年齢別に受診者、要精検者、精検受診者、発見大腸癌患者が把握され、且つ癌患者の個人票の揃っているもの	175
Ⅱ群	性・年齢別に集計されていないもの及び集計数のみ判明するもの	49
	計	224

後壁が23.6%で，前年度とほぼ同様な傾向がみられた（表14）。

３）大きさ

長径１cm以下の小胃癌が13.7%，1.1～2.0cmが25.5%で，あわせて39.2%であった（表15）。

４）切除胃癌の深達度別割合

表22　大腸がん検診の対象（重複回答）（平成19年度）

地域	職域	個人	検診機関数
182 (81.3 %)	166 (74.1 %)	57 (25.4 %)	224

表23　大腸がん検診の Screening の方法（平成19年度）

(1)	検便法	113	(50.4 %)
(2)	検便法＋問診	128	(57.1 %)
(3)	直接法	17	(7.6 %)
	検診機関数	224	

切除胃癌の深達度別頻度をみると，M癌が44.4%，ＳM癌が29.1%，あわせて73.5%であり，検診発見胃癌の約３／４は早期癌であった（表16）。

５）Stage 分類

Stage ⅠＡは66.8%と２／３を超えており，Stage Ⅳは4.5%であった（表17）。

６）肉眼分類

０型（表在型）が73.1%と最も多く，そのうちⅡｃ型が51.7%と過半数を占めた。４型は3.0%であった（表18，19）。

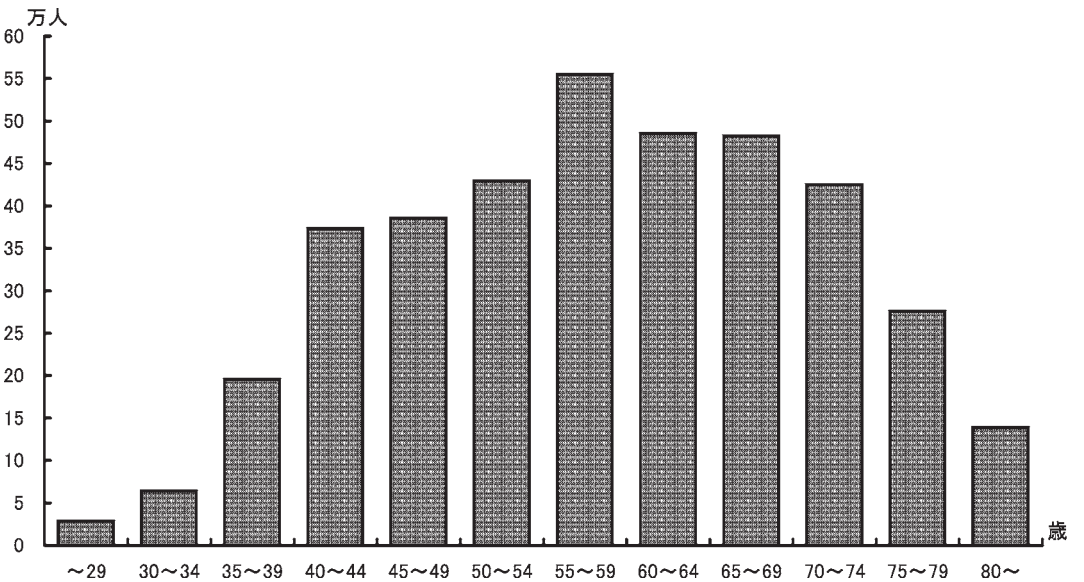
７）発見胃癌例の集検受診前歴

受診前歴の記載された胃癌3,469例について，集

表24　大腸がん検診成績（男女計，平成19年度）

	地域	職域	個人	計
(1)受診者数	2,553,496	2,330,993	185,430	5,069,919
(2)要精検者数 (2)÷(1)（%）	171,604 (6.7 %)	121,294 (5.2 %)	12,146 (6.6 %)	305,044 (6.0 %)
(3)精検受診者数 (3)÷(2)（%）	122,724 (71.5 %)	38,305 (31.6 %)	6,384 (52.6 %)	167,413 (54.9 %)
(4)大腸癌患者数 (4)÷(1)（%）	5,241 (0.205 %)	943 (0.040 %)	201 (0.108 %)	6,385 (0.126 %)

図9　大腸がん検診受診者数の年齢階級別分布
（地域，職域，個人，男女計，平成19年度，総数3,836,094名）



検受診歴区分でみると，初回発見例が全胃癌のうち25.6％を占め，１年前受診例，即ち２年連続受診で発見されたものが58.1％を占めた（図８）。

各受診歴別に胃癌に占める早期胃癌の割合をみると，初回発見例が69.0％で，一年前，二年前，三年前の早期胃癌の割合は各々76.2％，72.0％，74.2％であった。一年前に受診歴のある例では，受診歴のない例に対して，統計学的有意差をもって，早期癌を高率に認めた（図８）。

９．内視鏡胃がん検診の全国集計成績

一次スクリーニングとして内視鏡を用いた，いわゆる内視鏡胃がん検診は，Ｘ線撮影法による胃がん検診のような受診者の性年齢区分をした詳細ながん検診成績の回答は求めず，前年度と同様簡単な集計にとどめた。対象も前年度と同様に，年間500人以上の内視鏡胃がん検診を施行した機関のみに限定した。このような条件で集計すると，内視鏡がん検診の受診者総数は211,821人，発見胃癌633例（発見率0.30％），うち早期癌は458例（72.4

図10　大腸がん検診の要精検率および精検受診率
（地域，職域，個人，男女計，平成19年度）

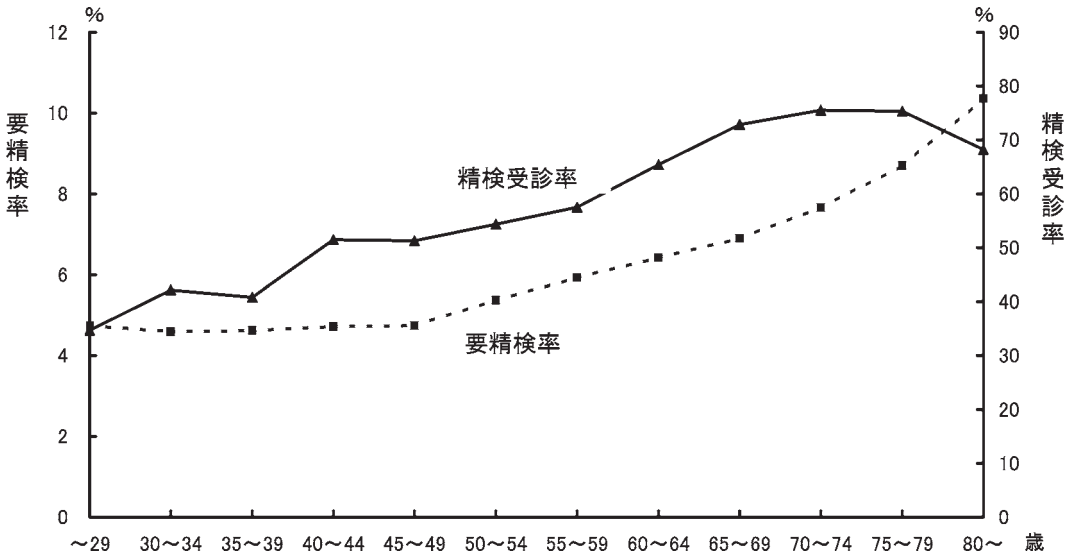
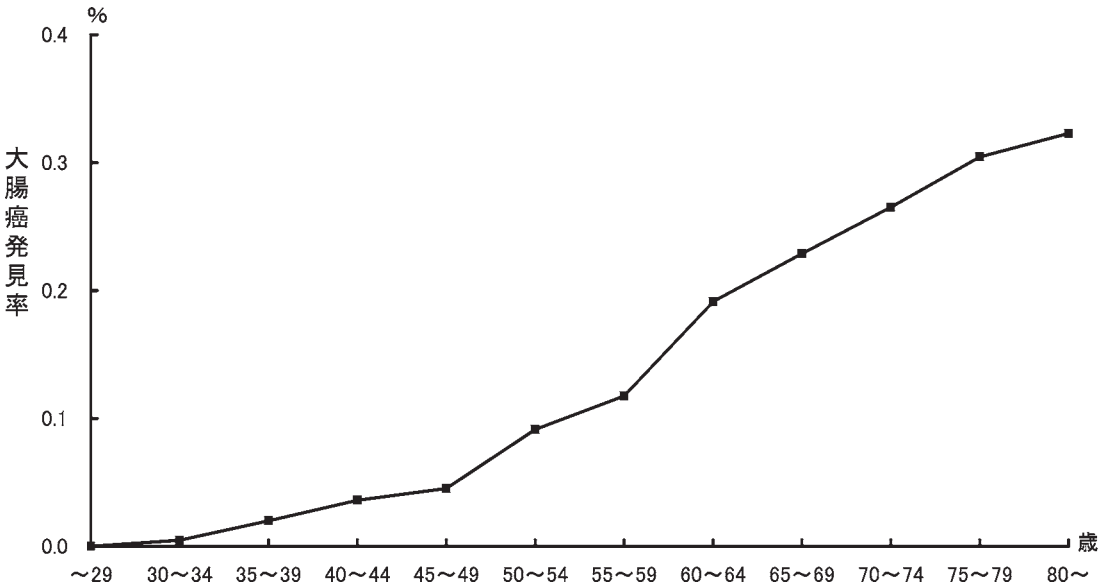


図11　大腸がん検診の大腸癌発見率
（地域，職域，個人，男女計，平成19年度）



%）を占めた。発見率は高率であった（表20）。

II　大腸がん検診全国集計

平成19年度に実施された大腸がん検診の全国集計調査に回答を寄せた機関は224ヵ所で，検診の統計をよく行っているⅠ群の割合は81.3%であった（表21）。

1．大腸検診の受診対象

図12　大腸がん検診における大腸ポリープ（腺腫）および非腺腫性ポリープの発見率
（地域，職域，個人，男女計，平成19年度）

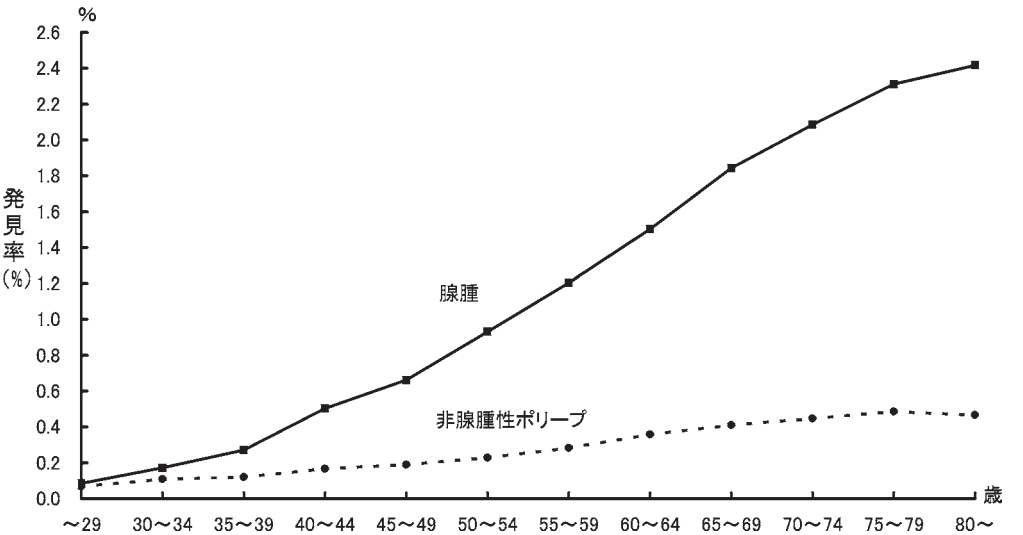


表25　大腸がん検診全国集計成績―男性―地域・職域，個人検診合計（平成19年度）

	総　数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	1,911,789	16,646	38,681	123,672	208,654	213,628	223,287	265,252	213,005	210,965	188,848	127,399	68,065	13,687
B 要精検者数	138,104	663	1,625	5,426	9,791	10,953	13,949	19,873	17,441	18,379	17,536	12,989	7,944	1,535
B/A %	7.22 %	3.98 %	4.20 %	4.39 %	4.69 %	5.13 %	6.25 %	7.49 %	8.19 %	8.71 %	9.29 %	10.20 %	11.67 %	11.22 %
C 精検受診者数	82,110	242	662	2,098	4,921	5,343	6,816	10,015	10,276	12,611	12,872	9,661	5,580	1,013
C/B %	59.46 %	36.50 %	40.74 %	38.67 %	50.26 %	48.78 %	48.86 %	50.40 %	58.92 %	68.62 %	73.40 %	74.38 %	70.24 %	65.99 %
D 大腸癌	3,586	0	3	19	73	108	206	390	534	706	685	531	254	77
D/A %	0.188 %	0.000 %	0.008 %	0.015 %	0.035 %	0.051 %	0.092 %	0.147 %	0.251 %	0.335 %	0.363 %	0.417 %	0.373 %	0.563 %
カルチノイド	33	1	0	1	2	2	3	9	4	3	4	3	1	0
腺腫性ポリープ	33,155	14	77	364	1,309	1,861	2,784	4,498	4,608	5,587	5,463	3,902	2,177	511
非腺腫性ポリープ	7,125	12	45	175	408	437	619	953	973	1,170	1,118	792	403	20
潰瘍性大腸炎	612	9	14	55	89	71	70	72	52	56	49	41	19	5
クローン氏病	30	0	2	5	8	2	7	3	0	0	1	0	2	0
大腸憩室	5,302	4	23	111	278	332	427	583	652	834	859	689	403	107
その他良性疾患	7,629	46	104	280	506	501	575	736	858	1,113	1,302	978	577	53
異常なし	22,215	135	359	998	2,095	1,864	1,914	2,483	2,305	2,819	3,055	2,436	1,533	219

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

大腸検診の受診対象は表22に示すように重複回答であるが，地域検診は81.3%，職域検診は74.1%，個人検診は25.4%で行われていた。

2．大腸検診の実施方法

大腸検診のスクリーニングの方法は，検便法だけによるものが50.4%，検便法に問診を加えた方法が57.1%であった（表23）。

3．大腸検診の成績

平成19年度に行われた全国の男女合計の受診者総数は5,069,919人で前年度に比べ約84万人(20.1%)増加していた。大腸癌発見数は6,385例(0.126%）であった。対象区分別にみると大腸癌の発見率は地域検診0.205%，職域検診0.040%，個人検診0.108%であった（表24）。

地域，職域，個人検診のうち，年齢が5歳階級別に報告された男女合計3,836,094人について年齢別頻度を検討すると，受診者数の年齢分布は50歳代と60歳代があわせて50.9%と過半数を占めた。39歳以下は7.5%，また70歳以上は21.9%を占めた(図9)。要精検率をみると，ほぼ加齢に伴って上昇していた。精検受診率は，胃がん検診に比較して低い傾向がみられた（図10）。

表26　大腸がん検診全国集計成績ー女性ー地域・職域，個人検診合計（平成19年度）

	総　数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	1,954,603	11,397	24,945	71,828	164,452	171,750	206,090	289,484	272,049	271,548	236,109	147,985	70,355	16,611
B 要精検者数	105,093	668	1,295	3,609	7,818	7,348	9,124	13,001	13,669	14,895	14,994	10,943	6,385	1,344
B/A %	5.38 %	5.86 %	5.19 %	5.02 %	4.75 %	4.28 %	4.43 %	4.49 %	5.02 %	5.49 %	6.35 %	7.39 %	9.08 %	8.09 %
C 精検受診者数	72,035	220	568	1,588	4,137	4,040	5,731	8,879	10,062	11,633	11,699	8,373	4,194	911
C/B %	68.54 %	32.93 %	43.86 %	44.00 %	52.92 %	54.98 %	62.81 %	68.29 %	73.61 %	78.10 %	78.02 %	76.51 %	65.69 %	67.78 %
D 大腸癌	2,386	0	0	20	62	67	186	262	394	398	442	307	193	55
D/A %	0.122 %	0.000 %	0.000 %	0.028 %	0.038 %	0.039 %	0.090 %	0.091 %	0.145 %	0.147 %	0.187 %	0.207 %	0.274 %	0.331 %
カルチノイド	18	0	0	0	0	2	3	4	3	2	3	0	1	0
腺腫性ポリープ	18,242	10	33	166	566	689	1,214	2,177	2,681	3,310	3,400	2,466	1,168	362
非腺腫性ポリープ	4,752	7	24	58	215	293	366	617	768	813	786	544	243	18
潰瘍性大腸炎	549	4	12	25	73	56	44	62	70	63	66	44	16	14
クローン氏病	14	0	0	0	1	3	2	2	1	2	0	1	2	0
大腸憩室	4,708	4	14	57	149	146	273	538	678	782	863	705	396	103
その他良性疾患	8,874	34	67	200	580	530	778	1,131	1,190	1,434	1,403	973	485	69
異常なし	30,042	137	375	971	2,320	2,121	2,662	3,789	3,970	4,487	4,377	3,069	1,495	269

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

表27　地域大腸がん検診全国集計成績ー男性ー（平成19年度）

	総　数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	891,797	1,163	3,818	7,060	31,815	38,381	51,527	85,153	125,737	176,239	172,736	120,244	64,850	13,074
B 要精検者数	76,918	44	166	376	1,784	2,256	3,356	6,358	10,194	15,228	15,918	12,214	7,546	1,478
B/A %	8.63 %	3.78 %	4.35 %	5.33 %	5.61 %	5.88 %	6.51 %	7.47 %	8.11 %	8.64 %	9.22 %	10.16 %	11.64 %	11.30 %
C 精検受診者数	54,272	26	101	218	1,086	1,327	2,047	3,951	7,056	11,001	11,919	9,195	5,364	1,001
C/B %	70.56 %	59.09 %	60.84 %	57.98 %	59.75 %	58.82 %	61.00 %	62.14 %	69.22 %	72.24 %	74.88 %	75.28 %	71.08 %	67.73 %
D 大腸癌	2,807	0	0	4	21	39	74	188	391	628	632	510	244	76
D/A %	0.315 %	0.000 %	0.000 %	0.057 %	0.066 %	0.102 %	0.144 %	0.221 %	0.311 %	0.356 %	0.366 %	0.424 %	0.376 %	0.581 %
カルチノイド	16	0	0	0	0	0	0	4	1	3	4	3	1	0
腺腫性ポリープ	22,853	1	9	48	269	443	798	1,720	3,206	4,906	5,104	3,737	2,106	506
非腺腫性ポリープ	4,556	1	4	21	84	109	182	358	670	999	1,010	721	377	20
潰瘍性大腸炎	278	2	2	6	14	16	25	21	35	58	39	37	18	5
クローン氏病	7	0	0	0	0	1	2	1	0	0	1	0	2	0
大腸憩室	3,532	0	4	11	66	81	118	197	421	712	787	647	384	104
その他良性疾患	5,155	2	16	33	144	145	200	314	613	979	1,191	915	552	51
異常なし	13,614	18	54	89	436	459	596	1,037	1,554	2,468	2,853	2,354	1,478	218

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

表28　地域大腸がん検診全国集計成績ー女性ー（平成19年度）

	総　数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	1,438,733	1,730	6,388	14,213	79,232	83,488	118,064	200,338	232,553	251,542	225,105	142,491	67,459	16,130
B 要精検者数	80,938	90	361	756	4,054	3,708	5,379	9,077	11,551	13,765	14,292	10,521	6,064	1,320
B/A %	5.63 %	5.20 %	5.65 %	5.32 %	5.12 %	4.44 %	4.56 %	4.53 %	4.97 %	5.47 %	6.35 %	7.38 %	8.99 %	8.18 %
C 精検受診者数	60,489	46	216	453	2,551	2,418	3,835	6,837	8,921	10,926	11,232	8,100	4,048	906
C/B %	74.73 %	51.11 %	59.83 %	59.92 %	62.93 %	65.21 %	71.30 %	75.32 %	77.23 %	79.38 %	78.59 %	76.99 %	66.75 %	68.64 %
D 大腸癌	2,121	0	0	5	44	42	127	204	359	372	431	295	187	55
D/A %	0.147 %	0.000 %	0.000 %	0.035 %	0.056 %	0.050 %	0.108 %	0.102 %	0.154 %	0.148 %	0.191 %	0.207 %	0.277 %	0.341 %
カルチノイド	13	0	0	0	0	0	2	3	2	2	3	0	1	0
腺腫性ポリープ	15,927	4	13	45	327	405	819	1,652	2,369	3,127	3,275	2,406	1,126	359
非腺腫性ポリープ	3,974	2	10	13	133	178	250	474	672	742	739	515	229	17
潰瘍性大腸炎	422	1	3	7	43	40	28	48	61	56	62	43	16	14
クローン氏病	11	0	0	0	1	1	1	2	1	2	0	1	2	0
大腸憩室	4,087	1	7	12	94	85	176	422	594	721	814	679	379	103
その他良性疾患	7,416	7	24	67	398	335	528	903	1,049	1,323	1,325	929	459	69
異常なし	24,625	27	140	277	1,427	1,266	1,786	2,929	3,559	4,268	4,239	2,981	1,458	268

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

大腸癌発見率は加齢とともに上昇していた。とくに，70歳代の発見率は，全年齢層の平均の1.9倍であった（図11）。大腸腺腫の発見率は1.3％で，これは大腸癌の8.6倍の頻度であり，発見率は加齢とともに上昇していた。非腺腫性ポリープの発見率は0.31％で，大腸癌の2.0倍の発見率であった（図12）。

性・年齢階級別の大腸がん検診全国集計成績を表25，26に示した。受診者のピークは男女とも50歳代後半であった。大腸癌発見率は男0.188％，女0.122％であった。

地域住民を対象とした大腸がん検診の全国集計

表29　検診発見大腸癌の受診前歴
（男女計，平成19年度）

初回受診者	1,734 名	(38.7 %)
1年前　〃	2,151 名	(48.1 %)
2年前　〃	400 名	(8.9 %)
3年前　〃	192 名	(4.3 %)
計	4,477 名	(100.0 %)

表30　治療の方法
（男女計，平成19年度）

外科手術	1,739	(37.1 %)
腹腔鏡下手術	668	(14.2 %)
内視鏡的ポリペクトミー	1,096	(23.3 %)
内視鏡的粘膜切除（含：粘膜下層剥離術）	1,126	(23.9 %)
無治療	15	(0.3 %)
その他	58	(1.2 %)
計	4,702	(100.0 %)

表31　手術の種類
（男女計，平成19年度）

結腸切除	1,627	(71.4 %)
直腸切除	551	(24.2 %)
直腸切断（人工肛門造設）	68	(3.0 %)
その他	33	(1.4 %)
計	2,279	(100.0 %)

成績を，表27，28に示した。受診者のピークは男女とも60歳代後半であった。大腸癌発見率は男0.315%，女0.147%と高率であった。

4．発見大腸癌の追跡調査成績

1）集計個票の送られてきたがん検診発見大腸癌のうち，38.7%は初回受診者，48.1%は1年前受診者であった（表29）。

2）治療の方法

表32　癌病巣の数
（男女計，平成19年度）

単発	4,332	(93.8 %)
2個	224	(4.8 %)
3個	38	(0.8 %)
4個以上	28	(0.6 %)
計	4,622	(100.0 %)

表33　癌病巣の部位
（男女計，平成19年度）

部位		例数	
肛門管	(P)	13	(0.3 %)
直腸	(R)	1,078	(22.9 %)
直腸S状部	(RS)	405	(8.6 %)
S状結腸	(S)	1,477	(31.2 %)
下行結腸	(D)	252	(5.3 %)
横行結腸	(T)	475	(10.1 %)
上行結腸	(A)	721	(15.3 %)
盲腸	(C)	293	(6.2 %)
虫垂	(V)	3	(0.1 %)
計		4,717	(100.0 %)

表34　肉眼分類
（男女計，平成19年度）

0型	2,916	(62.7 %)
1型	305	(6.6 %)
2型	1,258	(27.1 %)
3型	138	(3.0 %)
4型	7	(0.2 %)
5型	18	(0.4 %)
計	4,642	(100.0 %)

外科手術は1,739例（37.1%），腹腔鏡下手術は668例(14.2%)，内視鏡的ポリペクトミーは1,096例（23.3%），内視鏡的粘膜切除（含：粘膜下層剥

表35　O型（表在型）の肉眼分類
（男女計，平成19年度）

Ⅰp	668	(22.9 %)
Ⅰsp	959	(32.9 %)
Ⅰs	430	(14.7 %)
Ⅱa	444	(15.2 %)
Ⅱa+Ⅱc	173	(5.9 %)
Ⅱb	11	(0.4 %)
Ⅱc	76	(2.6 %)
その他	92	(3.2 %)
不　明	63	(2.2 %)
計	2,916	(100.0 %)

表36　大腸癌の大きさ（長径）
（男女計，平成19年度）

大きさ(cm)	病巣数	
～1.0	1,021	(23.9 %)
1.1～2.0	1,511	(35.5 %)
2.1～5.0	1,462	(34.2 %)
5.1～	275	(6.4 %)
計	4,269	(100.0 %)

表37　大腸癌の環周度
（男女計，平成19年度）

1/3　以下	2,615	(70.1 %)
1/2　以下	515	(13.8 %)
3/4　以下	242	(6.5 %)
3/4　以上	136	(3.7 %)
全　　周	218	(5.9 %)
計	3,726	(100.0 %)

表38　大腸癌の Stage 分類
（男女計，平成19年度）

Stage　O	1,559	(40.7 %)
Stage　Ⅰ	1,072	(27.9 %)
Stage　Ⅱ	505	(13.2 %)
Stage　Ⅲa	430	(11.2 %)
Stage　Ⅲb	163	(4.2 %)
Stage　Ⅳ	107	(2.8 %)
計	3,836	(100.0 %)

表39　大腸癌の深達度
（男女計，平成19年度）

M	2,042	(45.3 %)
SM	882	(19.5 %)
MP	492	(10.9 %)
SS	775	(17.1 %)
SE(A)	282	(6.2 %)
SI(AI)	46	(1.0 %)
計	4,519	(100.0 %)

離術）は1,126例（23.9%）に行われた（表30）。

3）手術の種類

手術のうち，結腸切除術が1,627例（71.4%），直腸切除術が551例（24.2%），人工肛門を造設した直腸切断術は68例（3.0%）であった（表31）。

4）癌病巣の数

単発は4,332例（93.8%），多発は290例（6.2%）であった（表32）。

5）占居部位

発見大腸癌の占居部位は4,717例中，最も多いのがＳ状結腸で1,477例（31.2%），ついで直腸の1,078例（22.9%）であり（表33），両者で過半数を占めた。

6）大腸癌の肉眼分類

０型が2,916例（62.7%）と最も多くみられた。そのうちＩｓｐ型が959例（32.9%）で，Ⅱｃ型は76例（2.6%）のみであった。また２型が1,258例

表40　大腸癌の Dukes 分類
（男女計，平成19年度）

Dukes A	2,321	(70.2 %)
Dukes B	323	(9.8 %)
Dukes C	660	(20.0 %)
計	3,304	(100.0 %)

表41　転移の有無
（男女計，平成19年度）

	a. リンパ節転移		b. 遠隔転移	
なし	2,981	(81.9 %)	3,593	(97.4 %)
あり	660	(18.1 %)	96	(2.6 %)
計	3,641	(100.0 %)	3,689	(100.0 %)

表42　大腸癌の組織型分類
（男女計，平成19年度）

乳頭腺癌	(pap)	410	(9.6 %)
高分化管状腺癌	(tub1)	2,603	(61.2 %)
中分化管状腺癌	(tub2)	1,011	(23.7 %)
低分化腺癌	(por)	69	(1.6 %)
粘液癌	(muc)	50	(1.2 %)
印環細胞癌	(sig)	4	(0.1 %)
その他		110	(2.6 %)
計		4,257	(100.0 %)

表43　食道がん検診の全国集計成績（平成19年度）

受診者総数	648,527 人	
男	405,503 人	(62.5 %)
女	243,024 人	(37.5 %)
発見疾患と発見率		
食道癌	109 名	(0.02 %)
食道ポリープ	562 名	(0.09 %)
食道炎	7,737 名	(1.19 %)
バレット潰瘍	265 名	(0.04 %)
静脈瘤	307 名	(0.05 %)
その他の疾患	14,909 名	(2.30 %)

表44　肝胆膵検診の全国集計成績（平成19年度）

受診者総数	945,742 人	
男	547,591 人	(57.9 %)
女	398,151 人	(42.1 %)
発見疾患と発見率		
肝癌（原発性）	74 名	(0.008 %)
肝癌（転移性）	33 名	(0.003 %)
肝硬変症	265 名	(0.03 %)
脂肪肝	180,560 名	(19.1 %)
肝嚢胞	106,374 名	(11.2 %)
胆嚢癌	341 名	(0.036 %)
胆嚢ポリープ	100,908 名	(10.7 %)
胆石症	31,155 名	(3.3 %)
膵癌	46 名	(0.005 %)
膵石症	327 名	(0.035 %)
膵嚢胞	4,380 名	(0.46 %)
腎癌	124 名	(0.013 %)

(27.1%) と多く，４型は７例 (0.2%) のみであった（表34，35)。

７）大きさと環周度

直径1.0㎝以下のもの1,021例 (23.9%)，1.1～2.0㎝が1,511例(35.5%) と２ cm 以下が過半数を占めた（表36)。環周度は１／３以下が2,615例 (70.1%) で２／３を占め，全周性が218例 (5.9%) に認められた（表37)。

８）Stage 分類

Stage 0 と Stage Ⅰで2,631例 (68.6%) と約２／３を占めた。Stage Ⅳは107例(2.8%) であった（表38)。

９）深達度分類

Mは2,042例 (45.3%)，SM は882例 (19.5%) であり，合計で64.8%と早期癌が全体の２／３を占めた。進行癌を深達度別にみると，MP492例 (10.9%)，SS775例(17.1%)，SE(A)282例(6.2%)，SI (AI) 46例 (1.0%) であった（表39)。

10）Dukes 分類

Dukes A は2,321例 (70.2%) であった（表40)。

11）転移の有無

リンパ節転移ありは3,641例中660例 (18.1%) であった。遠隔転移ありは3,689例中96例(2.6%) であった（表41)。

12）組織型分類

病理組織検査を行った4,257例中，高分化管状腺癌が2,603例（61.2％）で最も多く，ついで，中分化管状腺癌が1,011例（23.7％）であった（表42）。

III　食道がん検診および肝胆膵検診全国集計

1．食道がん検診

食道がん検診の受診者総数は648,527人であった。また，発見食道癌は109例（0.02％），食道ポリープ562例（0.09％），食道炎7,737例（1.19％）であった（表43）。

2．肝胆膵検診

肝胆膵検診の受診者総数は945,742人であった。発見疾患は，脂肪肝19.1％，肝嚢胞11.2％，胆嚢ポリープ10.7％，胆石症3.3％であり，少数例ではあるが肝硬変症265例（0.03％），原発性肝癌74例（0.008％），転移性肝癌33例（0.003％），胆嚢癌341例（0.036％），膵癌46例（0.005％），腎癌124例（0.013％）が発見された（表44）。

IV　まとめ

平成19年度の消化器がん検診全国集計について要約すると以下のようになる。

（1）胃がん検診については，受診者総数が6,385,118人で，前年度比＋10.3％，約60万人の増加，発見胃癌は5,606例（発見率0.088％）であった。地域検診は，全体の44.9％の約278万人であった。

（2）大腸がん検診は全国で5,069,919人，前年度比＋20.1％，約84万人の増加，発見大腸癌6,385例（発見率0.126％）であった。

なお，アンケートの回答をおよせいただいた全国の検診機関，および学会の役職員や事務局の方々，各県の全国集計協力委員，認定医の先生方の絶大な協力に対して厚く御礼申し上げます。

V　補足「各支部・都道府県別検診成績」

表45（次頁）

今回も，学会誌の「委員会報告」に，各支部と都道府県別の検診成績を載せています。各支部および，都道府県によるバラツキが明瞭と思います。集計数「0」の県は，本集計に，全く協力いただいていないという現況で，全国の厚労省や対がん協会発表の数値より低い県と併せて，本集計作業の問題点が残されていると思います。今後，できるだけ多くの施設のご協力を得て，さらに精度の高い集計をしたいと思っておりますので，よろしくお願いいたします。

表45
胃がん検診

		受診者数	要精検者数	精検受診者数	胃癌発見数	D票回収数	要精検率	精検受診率	胃癌発見率	適中度	D票回収率
全国		6,385,118	527,081	328,851	5,606	4,162	8.25	62.4	0.088	1.06	74.2
支部別	北海道	375,733	28,411	20,353	369	337	7.56	71.6	0.098	1.30	91.3
	東北	1,066,833	98,649	73,108	1,402	1,298	9.25	74.1	0.131	1.42	92.6
	関東甲信越	1,945,730	163,119	86,863	1,638	855	8.38	53.3	0.084	1.00	52.2
	東海北陸	743,341	64,920	38,186	525	345	8.73	58.8	0.071	0.81	65.7
	近畿	805,398	60,349	34,633	538	413	7.49	57.4	0.067	0.89	76.8
	中国四国	477,410	34,209	23,505	428	282	7.17	68.7	0.090	1.25	65.9
	九州	970,673	77,424	52,203	706	632	7.98	67.4	0.073	0.91	89.5
北海道	北海道	375,733	28,411	20,353	369	337	7.56	71.6	0.098	1.30	91.3
東北	青森	110,669	9,202	7,344	116	114	8.31	79.8	0.105	1.26	98.3
	岩手	186,268	14,593	11,556	221	207	7.83	79.2	0.119	1.51	93.7
	秋田	83,348	9,313	6,798	119	90	11.17	73.0	0.143	1.28	75.6
	宮城	321,028	26,371	17,333	447	426	8.21	65.7	0.139	1.70	95.3
	山形	205,233	21,611	16,382	247	240	10.53	75.8	0.120	1.14	97.2
	福島	160,287	17,559	13,695	252	221	10.95	78.0	0.157	1.44	87.7
関東甲信越	茨城	171,510	21,451	15,703	210	178	12.51	73.2	0.122	0.98	84.8
	群馬	133,383	12,413	7,187	121	106	9.31	57.9	0.091	0.97	87.6
	栃木	83,820	6,427	4,247	83	78	7.67	66.1	0.099	1.29	94.0
	埼玉	116,148	13,033	5,146	121	94	11.22	39.5	0.104	0.93	77.7
	千葉	210,614	21,109	13,982	216	44	10.02	66.2	0.103	1.02	20.4
	東京	405,777	24,231	6,818	126	103	5.97	28.1	0.031	0.52	81.7
	神奈川	390,546	28,318	8,008	188	93	7.25	28.3	0.048	0.66	49.5
	山梨	79,047	6,346	4,232	61	37	8.03	66.7	0.077	0.96	60.7
	長野	97,097	11,202	7,115	93	14	11.54	63.5	0.096	0.83	15.1
	新潟	257,788	18,589	14,425	419	108	7.21	77.6	0.163	2.25	25.8
東海北陸	富山	60,228	6,185	4,350	80	67	10.27	70.3	0.133	1.29	83.8
	石川	60,528	5,582	4,347	70	62	9.22	77.9	0.116	1.25	88.6
	福井	29,930	3,171	2,428	41	41	10.59	76.6	0.137	1.29	100.0
	静岡	163,350	13,475	8,302	111	74	8.25	61.6	0.068	0.82	66.7
	愛知	247,709	23,116	11,668	151	48	9.33	50.5	0.061	0.65	31.8
	三重	79,002	3,429	1,006	23	16	4.34	29.3	0.029	0.67	69.6
	岐阜	102,594	9,962	6,085	49	37	9.71	61.1	0.048	0.49	75.5

胃がん検診		受診者数	要精検者数	精検受診者数	胃癌発見数	D票回収数	要精検率	精検受診率	胃癌発見率	適中度	D票回収率
近畿	滋賀	62,492	3,883	2,299	35	26	6.21	59.2	0.056	0.90	74.3
	奈良	27,885	1,348	818	18	10	4.83	60.7	0.065	1.34	55.6
	京都	94,449	5,717	1,195	17	14	6.05	20.9	0.018	0.30	82.4
	大阪	339,703	27,673	15,540	240	177	8.15	56.2	0.071	0.87	73.8
	和歌山	25,658	2,719	1,637	20	10	10.60	60.2	0.078	0.74	50.0
	兵庫	255,211	19,009	13,144	208	176	7.45	69.1	0.082	1.09	84.6
中国四国	鳥取	23,165	1,594	1,113	24	12	6.88	69.8	0.104	1.51	50.0
	島根	38,919	3,153	2,075	41	41	8.10	65.8	0.105	1.30	100.0
	岡山	81,973	4,777	2,860	40	7	5.83	59.9	0.049	0.84	17.5
	広島	89,262	6,651	4,616	115	72	7.45	69.4	0.129	1.73	62.6
	山口	43,198	4,238	1,886	15	0	9.81	44.5	0.035	0.35	0.0
	香川	31,706	1,984	1,813	35	31	6.26	91.4	0.110	1.76	88.6
	徳島	22,108	1,062	888	20	16	4.80	83.6	0.090	1.88	80.0
	愛媛	86,411	6,695	4,839	70	47	7.75	72.3	0.081	1.05	67.1
	高知	60,668	4,055	3,415	68	56	6.68	84.2	0.112	1.68	82.4
九州	福岡	414,676	25,704	15,071	260	236	6.20	58.6	0.063	1.01	90.8
	佐賀	33,076	4,343	3,669	60	60	13.13	84.5	0.181	1.38	100.0
	長崎	38,464	3,415	2,639	38	26	8.88	77.3	0.099	1.11	68.4
	熊本	144,906	13,837	8,988	115	115	9.55	65.0	0.079	0.83	100.0
	大分	97,794	7,368	5,724	59	36	7.53	77.7	0.060	0.80	61.0
	宮崎	44,006	3,906	3,162	42	38	8.88	81.0	0.095	1.08	90.5
	鹿児島	119,818	10,442	8,843	109	102	8.71	84.7	0.091	1.04	93.6
	沖縄	77,933	8,409	4,107	23	19	10.79	48.8	0.030	0.27	82.6

大腸がん検診		受診者数	要精検者数	精検受診者数	大腸癌発見数	D票回収数	要精検率	精検受診率	大腸癌発見率	適中度	D票回収率
全国		5,069,919	305,044	167,413	6,385	4,917	6.02	54.9	0.126	2.09	77.0
支部別	北海道	216,355	16,066	12,637	439	407	7.43	78.7	0.203	2.73	92.7
	東北	934,877	55,138	37,045	1,423	1,361	5.90	67.2	0.152	2.58	95.6
	関東甲信越	1,421,000	85,841	35,709	1,665	764	6.04	41.6	0.117	1.94	45.9
	東海北陸	520,655	32,452	15,541	548	452	6.23	47.9	0.105	1.69	82.5
	近畿	689,728	34,951	17,603	693	600	5.07	50.4	0.100	1.98	86.6
	中国四国	384,499	21,863	13,454	496	377	5.69	61.5	0.129	2.27	76.0
	九州	902,805	58,733	35,424	1,121	956	6.51	60.3	0.124	1.91	85.3
北海道	北海道	216,355	16,066	12,637	439	407	7.43	78.7	0.203	2.73	92.7
東北	青森	114,307	4,008	2,919	117	117	3.51	72.8	0.102	2.92	100.0
	岩手	189,157	11,244	7,631	353	352	5.94	67.9	0.187	3.14	99.7
	秋田	103,095	6,765	4,399	204	157	6.56	65.0	0.198	3.02	77.0
	宮城	152,177	7,501	4,277	203	189	4.93	57.0	0.133	2.71	93.1
	山形	219,300	12,540	8,478	280	280	5.72	67.6	0.128	2.23	100.0
	福島	156,841	13,080	9,341	266	266	8.34	71.4	0.170	2.03	100.0
関東甲信越	茨城	160,174	11,338	8,004	297	246	7.08	70.6	0.185	2.62	82.8
	群馬	68,273	3,591	2,122	94	93	5.26	59.1	0.138	2.62	98.9
	栃木	83,626	4,681	2,427	79	61	5.60	51.8	0.094	1.69	77.2
	埼玉	62,450	4,736	2,273	125	122	7.58	48.0	0.200	2.64	97.6
	千葉	26,798	1,571	493	7	5	5.86	31.4	0.026	0.45	71.4
	東京	242,411	14,451	3,632	163	149	5.96	25.1	0.067	1.13	91.4
	神奈川	468,397	26,601	6,095	428	58	5.68	22.9	0.091	1.61	13.6
	山梨	41,797	3,606	1,251	25	13	8.63	34.7	0.060	0.69	52.0
	長野	116,228	7,473	3,698	106	15	6.43	49.5	0.091	1.42	14.2
	新潟	150,846	7,793	5,714	341	2	5.17	73.3	0.226	4.38	0.6
東海北陸	富山	32,543	2,014	1,363	67	60	6.19	67.7	0.206	3.33	89.6
	石川	63,987	4,310	2,998	102	102	6.74	69.6	0.159	2.37	100.0
	福井	36,450	1,933	1,459	71	67	5.30	75.5	0.195	3.67	94.4
	静岡	138,785	8,808	3,370	117	100	6.35	38.3	0.084	1.33	85.5
	愛知	138,379	8,803	3,903	92	45	6.36	44.3	0.066	1.05	48.9
	三重	57,461	3,114	998	34	27	5.42	32.0	0.059	1.09	79.4
	岐阜	53,050	3,470	1,450	65	51	6.54	41.8	0.123	1.87	78.5

大腸がん検診		受診者数	要精検者数	精検受診者数	大腸癌発見数	D票回収数	要精検率	精検受診率	大腸癌発見率	適中度	D票回収率
近畿	滋賀	63,582	4,841	3,396	154	154	7.61	70.2	0.242	3.18	100.0
	奈良	0	0	0	0	0	0.00	0.0	0.000	0.00	0.0
	京都	192,040	7,996	1,106	53	49	4.16	13.8	0.028	0.66	92.5
	大阪	247,880	12,150	7,354	282	252	4.90	60.5	0.114	2.32	89.4
	和歌山	10,546	381	201	17	0	3.61	52.8	0.161	4.46	0.0
	兵庫	175,680	9,583	5,546	187	145	5.45	57.9	0.106	1.95	77.5
中国四国	鳥取	27,405	1,807	1,196	54	44	6.59	66.2	0.197	2.99	81.5
	島根	41,388	2,099	1,105	91	83	5.07	52.6	0.220	4.34	91.2
	岡山	38,430	2,114	1,209	29	9	5.50	57.2	0.075	1.37	31.0
	広島	29,141	1,765	1,123	54	54	6.06	63.6	0.185	3.06	100.0
	山口	39,767	2,167	709	23	1	5.45	32.7	0.058	1.06	4.3
	香川	26,088	1,899	1,493	45	43	7.28	78.6	0.172	2.37	95.6
	徳島	20,916	1,279	936	34	25	6.11	73.2	0.163	2.66	73.5
	愛媛	100,890	6,803	4,481	111	84	6.74	65.9	0.110	1.63	75.7
	高知	60,474	1,930	1,202	55	34	3.19	62.3	0.091	2.85	61.8
九州	福岡	353,855	21,538	10,571	377	312	6.09	49.1	0.107	1.75	82.8
	佐賀	44,409	4,081	2,832	86	86	9.19	69.4	0.194	2.11	100.0
	長崎	41,363	2,993	2,085	63	52	7.24	69.7	0.152	2.10	82.5
	熊本	150,822	9,805	7,127	213	213	6.50	72.7	0.141	2.17	100.0
	大分	117,975	7,423	4,742	117	82	6.29	63.9	0.099	1.58	70.1
	宮崎	20,443	1,546	1,100	38	38	7.56	71.2	0.186	2.46	100.0
	鹿児島	67,897	5,102	3,783	110	109	7.51	74.1	0.162	2.16	99.1
	沖縄	106,041	6,245	3,184	117	64	5.89	51.0	0.110	1.87	54.7